

岡崎市ハコモノ個別施設計画の概要

◆ 計画の目的と位置づけ

岡崎市ハコモノ個別施設計画は、インフラ長寿命化基本計画（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議）に基づく本市の行動計画となる岡崎市公共施設等総合管理計画を踏まえ、ハコモノ施設における個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定めています。

◆ 計画期間

令和3年度から令和12年度までの10年間（必要に応じて5年で見直し）

◆ 対象施設

岡崎市公共施設等総合管理計画におけるハコモノ類型施設のうち301施設

◆ 対策の考え方

- (1) 各施設の重要度並びに計画的保全が必要な部材の劣化度等を定量的に評価することにより、優先度を判定し、その結果を基に実施に向けた検討を行います。
- (2) 更新等に係る費用は『建築物のライフサイクルコスト』（一般財団法人建築保全センター発行）の単価等を参考に概算費用を積算しています。
- (3) 対策の実施時期は、部材ごとの更新サイクルや、その他各施設で必要となる改修の時期を基本とし、計画期間内において、優先順位の結果等を基に実施時期を決定します。

◆ 各施設の状態及び対策内容等

類型ごとに作成した個別施設票で各施設の状態及び対策内容等を記載しています。

【対策内容等まとめ】

対策内容	施設数	金額（千円）	対象施設
更新（建替え）	3	6,482,250	西部・南部学校給食センター、岡崎消防団第3部車庫警備室
長寿命化 （うち内部改修分）	73 (4)	13,799,453 (4,103,024)	本庁舎等（内部改修：市民会館（甲山会館）、シビックセンター、美術博物館、中央総合公園）
複合化	1	2,191,000	岩津市民センター
合計	77	22,472,703	

※本計画は、各施設の『今後の取組みの方向性（考え方）及び概ねの費用等の見込み』を示すものであり、事業の実施（事業化）にあたっては、関係課等との協議・調整や事業費確保（予算措置）、実施計画の策定等を行う必要があります。